

科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合 議事概要

- 日 時 平成 21 年 11 月 19 日（木）10:00～11:00
- 場 所 合同庁舎 4 号館 7 4 2 会議室
- 出席者 津村政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、青木議員、金澤議員、藤田政策統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大江田審議官
- 議事概要

議題 1. グリーンイノベーションに係る施策の推進のための基礎的調査（案）

<有松参事官より説明>

- （相澤議員） ◇ グリーンイノベーションに係る推進方策の検討方針、また、科学技術振興調整費・機動的対応を活用した「グリーンイノベーションに係る施策の推進のための基礎的調査」の実施については、了解されたこととする。
- （本庶議員） ◇ この調査は一次情報の収集であり、本来、新しい視点を打ち出していくのがグリーンイノベーションであるということを認識する必要がある。

議題 2. 最先端研究開発支援プログラムについて

<二村参事官より説明>

【新規プログラムの目的】

- （相澤議員） ◇ 名称は「最先端・次世代研究開発支援プログラム」として進めていく。

【対象とする研究者】

- （本庶議員） ◇ 若手は 45 歳以下とするのが世間の常識というのは理解できない。
このプログラムでは、PI という条件があり、そのレンジを考えると、大部分が 35 歳から 65 歳までの間に入るとするのが常識。したがって、その前半の 15 年を若手とすれば、上限は 50 歳ということになる。
- （相澤議員） ◇ 原則として 45 歳を上限とし、諸般の事情を勘案してその年齢以上であっても許容することとしてはどうか。
- （本庶議員） ◇ それであれば、許容する条件を具体的に記載する必要がある。
- （津村政務官） ◇ 若手枠と女性枠に重なる部分が出てくるが、そこはどのように考えればよいか。
合理的に考えれば、若い女性は両方にアプライするのではないか。
- （本庶議員） ◇ ある一定の数の女性研究者に研究費を出すというのが今回の精神である。若い女性はどちらか一方に応募することにして、若手枠で取った女性と、女性枠でとった女性を足し合わせて一定規模が確保されればよいのではないか。
- （白石議員） ◇ 先週は両方応募できるという方向で議論をしていたはず。若い女性が、仮に若手枠の方で選考に漏れても、女性枠で拾い上げられるというようなスキームにしなければ、女性は困る。

- (二村参事官) ◇ 事務的には、受付は1つで、審査する段階で枠に振り分けていくという考え方もあるという議論をしているので、御参考までに紹介させていただく。
- (金澤議員) ◇ 公募するときに「若手枠」「女性枠」と言うということは、数まで示すということだと思うが、そうではなく、若手、女性、地域を重視するという事だけ言っておけばいいのではないか。
- (相澤議員) ◇ 1000億のプログラムとの仕分けもあり、これまで議論してきたとおり「若手枠」「女性枠」という形態で進めていきたい。
- (白石議員) ◇ 女性には年齢制限は設けず、男性には設けるよう入口の条件を変更し、選考については、あるところまでは純粋に評価だけで決め、その後のところで女性のウエートづけをどうするかを考えればよいのではないか。
- (本庶議員) ◇ 地域枠も同じ考え方で、一定のところまで評価をして並べた後、地域の人が必要なければ下からゲタを履かせて上げていき、一定枠を確保するという考え方がやりやすいのではないか。
- (津村政務官) ◇ 表現方法はいろいろあると思うが、どのように優遇するのかに言及しなければ、恣意的に思われる可能性がある。
- (金澤議員) ◇ どういう人たちが出てきているのかを見ないで、あらかじめ決めるのは難しい。今の時点で決めると逆に縛られることになってしまう。
- (本庶議員) ◇ いわゆるアフーマティブアクションなので、点数は難しいと思うが、比率を決めるか、あらかじめ人数の枠を決めるしかない。
- (白石議員) ◇ 全体の件数の目安が350件だとすると、そのうち、例えば70%は評価だけで決めることとし、30%はアフーマティブアクションの要素を入れるといった形ではないか。
- (相澤議員) ◇ 窓口を一本化して一律に審査を行った上で、女性、地域の人々というところに枠を設けて全体の総合的評価をするという形で了解されたということとする。

【その他】

- (相澤議員) ◇ 研究者等からの意見募集については、資料のとおり検討を進め、関係省庁の意向を確認したうえで、次回の会合でまた議論したい。

議題3. その他

・科学技術関係予算の確実な確保について（緊急提言）

<相澤議員より説明>

- (本庶議員) ◇ この提言は、世間一般に向けてアピールするものなのか、あるいは鳩山総理に向けた進言なのか。
- (相澤議員) ◇ あくまでも世間一般へのアピールが前提ではあるが、機会があれば、この内容を関係者に直接説明する機会も得たい。
- (本庶議員) ◇ 4ページの3行目の「残念ながら」以下の文章は、「科学技術を重視するとの姿勢が見えていない」と単に非難するよりも、専門家としての総合科学技術会議の意見を十分に踏まえて科学技術予算編成に当たっていただきたいという表現の方がいいのではないか。最後の文も、はっきりと「予算の拡充を求めるものである」とした方がいい。

(白石議員) ◇ 今回の仕分けの作業を見て一番心配なのは、21世紀に日本をどういう国にしていくのかというメッセージなしに切られているという点である。
世界の中の日本を考えたときに、もう経済大国ではなく、科学技術、イノベーションで日本という国を作っていかなければならないというメッセージがまずあって、それとの関係で予算の話が来るという形にするのがいいのではないか。

・科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関する意見募集について

＜須藤参事官より説明＞

(特に意見なし)

(以 上)